

# **NM装置(SPECT) 清掃・消毒ガイド**

「取扱説明書 (2B010-375JA\*)」第7章 より、抜粋。

## 第7章 装置の保守

製品の安全性・性能を維持するためには、保守点検が必要です。お客様の責任のもとで、製品の保守点検を行ってください。

保守点検には、日常点検、定期点検、および消耗部品・定期交換部品の交換があります。

定期点検の一部と定期交換部品の交換には、特殊な工具を必要とする作業や危険を伴う作業があるため、専門技術が必要です。当社では、専門技術を必要とする保守点検を有償で承っております。

なお、保守点検についてご質問がありましたら、最寄りのサービスセンタにお問い合わせください。

### 7. 1 清 掃

ご使用後は、装置本体、オプション機器、および室内を清掃してください。

また、血液などが付着した場合や、放射性医薬品に汚染された場合についても下記の方法で適切に処置してください。

- ⚠注意**
- (1) 清掃は、装置の電源を切った状態で行ってください。電源を入れたまま作業を行うと、誤動作の原因となり、事故や故障を起こすおそれがあります。また、水や洗剤などの液体が装置の内部に入ると漏電の原因となり、感電のおそれがあります。
  - (2) 装置が完全に乾いた状態で電源を入れてください。濡れた状態で通電すると、漏電や故障の原因となり、感電やけがををするおそれがあります。

- 注意
- (1) 装置の電源を切った状態でも、装置に水や洗剤などの液体をかけたり噴霧したりしないでください。装置の内部に液体が入ると、故障の原因となります。
  - (2) シンナやベンジンなどの溶剤や、コンパウンドなど研磨剤を含む物を、製品の清掃に使用しないでください。拭いた部分が白く曇ったり、傷が付くことがあります。
  - (3) 接触センサの洗浄には十分注意してください。磨いたりこすったりすると、表面に修復できない傷が付くおそれがあります。

## (1) 装置の清掃

装置本体およびオプション機器の汚れは、乾いた柔らかい布で拭き取ってください。特に汚れのひどい場合は、中性洗剤を付けた布巾で、汚れを拭き取ってください。

- ・ 中性洗剤は、洗剤メーカーが指定する濃度に薄めてご使用ください。
- ・ 布巾は、洗剤が垂れないように固く絞ってご使用ください。
- ・ 洗剤を使って汚れを拭き取った後は、乾いた布巾で乾拭きしてください。

## (2) 室内の清掃

室内のゴミや塵を、掃除機で吸い取ってください。また、床を水拭きする場合は、水が垂れないように固く絞ったモップや布巾をご使用ください。

## (3) 放射性医薬品で装置本体およびオプション機器を汚染した場合は、直ちに汚染した部分を中性洗剤の付いた布巾で線量が許容値以下になるよう拭き取ってください。布巾は 1 回拭くたびに取換え、周囲に汚染が広がるのを避けてください。

線量が許容値以下にならない場合は、許容値以下になるまでは装置のご使用は避けてください。

## (4) 消 毒

装置本体やオプション機器に血液が付着した場合などは、次の要領で消毒してください。

## (a) (b) の項目を除く装置本体およびオプション機器

- ・ 消毒用エタノールを付けた布巾で消毒してください。

注意 使用する消毒剤の取扱説明書で、使用上の注意および消毒剤の特性を十分にご確認のうえご使用ください。

- ・ 十分な消毒効果を上げるために、使用する消毒剤メーカーが指定する使用濃度、作業温度、消毒時間を確認し、守ってください。

- ・ 消毒剤を含ませ軽く絞った布巾で、装置の表面を拭いてください。

このとき、装置内部に消毒剤が入らないように注意してください。

## (b) 表面の素材に布およびクッションを使用している部分

(天板のマジックファスナ・被検者固定用などのバンドなど)

上記のものは、消毒や洗浄をしにくい素材が使用されています。もし血液などが付着した場合は、消毒や洗浄ではなく部品を交換してください。